

第68回国連女性の地位委員会 (CSW68) 第1週目に開催されたUN Women国内委員会会議参加報告

理事長 橋本 ヒロ子

3月9日夕方日本をたち、3月10日の朝ニューヨークに到着した。

UN Women主催会議は3月13-15日であったが、それに先立って到着日の3月10日午後2-4時に、Simone Clarkeオーストラリア国内委員会理事長が滞在中のWestinホテルの1室で開催されたStanding Committee Meetingに参加した。

この会議の議題は、毎年10月に各国国内委員会が交代でホストする「UN Women国内委員会年次総会の開催国」で、次のように決まった。

2024 Finland

2025 Austria & Germany

2026 Spain.

2027 Sweden.

2028 Iceland.

2029 Australia & New Zealand



3月13-15日の会場はUN Women事務局。参加した国内委員会は、オーストラリア、オーストリア、ドイツ、フィンランド、アイスランド、ニュージーランド、スウェーデン、英国と日本の9カ国。会議及び説明の内容は、UN Women本部における業務の中で、デジタル及び公共寄付、HeForSheキャンペーン活動、国内委員会間の連携・協力、危機に関するコミュニケーション、戦略的パートナーシップ、コミュニケーション、女性に対する暴力撤廃基金などであった。

関連で、Madi副事務局長(資源管理、持続可能性及びパートナーシップ担当;2024年5月来日の際、日本事務所でお目にかかった。)、各地域及び各国事務所長(東南部アフリカ地域、アジア・太平洋地域事務所長、各国事務所(パレスティナ、トルコ、ジョルダン、中国))からも話を聞くことができた。

中でも特に印象に残ったのは、ガザに支援しているという理由で、各国の委員会が外部からの攻撃を受けているということである。国連およびUN Womenがイスラエル支持国から非難されていることを知ってはいたが、各国の国内委員会、委員会職員・理事の家族までが攻撃されているというのを聞くのは初めてだった。毎週、UN Womenは夜9時、時には10時から、ガザの状況について各国委員会に説明会をネットで開催するだけでなく、ニューズレターも刊行している。日本協会のサイトにも、本田敏江副理事長のご貢献により、日本語訳を掲載している。今のところ日本協会がガザに支援しているということで攻撃はされていない。

また、アイスランドの事務局長には、利息が極めて高いinvestment fundsを借りてまでして、どのように寄付集めをしているのかと聞いたら、telephone marketing(日本では出来ない)だと言われた。これまで対面寄付の推進を強調していたDonald Kossuth(コンサルタント)が、今回はnetで寄付を集めるべきだと話していた。現在、成功事例を持つスウェーデンの情報を収集中である。

国連安全保障理事会の非常任理事国として、おそらく日本人女性初の議長としてお忙しい志野光子国連日本政府代表部特命全権大使・次席常駐代表が12日の昼食にご招待下さり、久しぶりにお話をした。山崎和之特命全権大使には官邸にご招待いただき、拠出金未払国が多く、アメリカも拠出金を半額にすると言っており、国連の財政状況が極めて厳しいことを伺えたのは、今後を考える上で有益であった。

SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」

UN WomenとSDGs

UN Womenには、組織の活動を導く4つの文書があります。①女性差別撤廃条約、②北京宣言・北京行動綱領、③安保理決議1325号「女性と平和・安全保障」、そして④持続可能な開発目標（SDGs）です。

2030年に向け実施されているSDGsには目標5「ジェンダー平等を実現しよう」がありますが、SDGsが公表された2030アジェンダで強調されているのは、「ジェンダー平等の実現と女性・女児のエンパワメントは、すべての目標とターゲットにおける進展において死活的に重要な貢献をする」(パラグラフ20)という点です¹。目標5だけでなく、すべての目標でジェンダー平等を実現する必要があります。

達成期限の2030年まで6年となったSDGsですが、気候危機対策が一向に進まない状況に、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行とウクライナそしてガザの武力紛争が加わり、持続可能な未来の実現は危機に瀕しています。少しずつ積み上げた進展が一気に後退していますが、ジェンダー平等も例外ではありません。

「途上国」の多くで、水と燃料（薪）の確保は女性の仕事ですが、気候危機による環境悪化のため、以前より長い距離を歩かなければいけない場所が増えています。重い労働負担が女性の健康被害を引き起こしていますし、少女が母親を手伝う場合には、少女の就学率低下が懸念されます。コロナ禍による生活困窮のために児童婚が増えているという報告もあります。UN Womenは、ジェンダー視点からSDGsを評価した報告書（2022年）²で、現在のペースが続くなら、男女が平等な法的権利を手にするには後286年かかるだろうと予測しています。コロナ禍で、DVを始めとする女性に対する暴力が悪化したことも多くの場所で報告されています。

世界の女性の3人に1人は暴力の被害者であり、非識字者の60%以上が女性です。また、1日1.9ドル以下で暮らす貧困層の70%は女性です。妊娠・出産を原因とするトラブルで1日800人を超える女性が命を落としています、その94%はいわゆる「途上国」の女性です。紛争のために住む場所から移動することを余儀なくされた難民や国内避難民の8割は女性と子どもです。

世界と日本で「誰一人取り残さず」ジェンダー平等を

ジェンダー平等はSDGsの「一丁目一番地」です。人口の半数を占める女性の課題が解決しなければ、「誰一人取り残さない」未来はつくれません。ジェンダーギャップ指数の順位（2024年は146か国中118位）を考えても、日本も課題山積です。

新型コロナウイルス感染症にうまく対応できた国の多

くは、女性がトップでした。欧州中央銀行総裁のクリスティーヌ・ラガルドさんは、経済危機の克服には女性のリーダーシップが欠かせないことを繰り返し述べています。女性、男性、そしてすべての人が平等を保障され、生涯を通じて、自分を大切に、安心して生活し、幸福に、そして平和に生きるためにジェンダー平等が不可欠です。

副理事長 三輪敦子



家族が使う水を確保する(カメルーンの難民キャンプ)
Photo: UN Women/Ryan Brown

1 「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」(外務省仮訳):https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402_2.pdf

2 UN Women, "Progress on the Sustainable Development Goals: The Gender Snapshot 2022", p.11. <https://unstats.un.org/sdgs/gender-snapshot/2022/GenderSnapshot.pdf>

「国際女性デー」ウクライナ支援・チャリティ・ランチコンサート報告

3月5日、「国際女性デー」ウクライナ支援・チャリティ・ランチコンサートを、国際文化会館（東京都港区）で約100名の参加を得て開催しました。

ロシアのウクライナ侵攻から2月24日で3年目に入り、今なお戦火が続いています。

UN Women（国連女性機関）は、ウクライナの女性と少女のために支援活動を続けています。今回は、この支援活動のためのチャリティ・イベントとして、ウクライナ出身のカテリーナさんをお招きしました。

冒頭、橋本ヒロ子理事長よりの挨拶の後、福岡史子UN Women日本事務所所長よりのご挨拶がありました。ウクライナでは女性と少女が一番の被害者で、戦時下の性暴力



ウクライナ民族衣装で、バンドウーラを演奏するカテリーナさん

や人身取引などの例が挙げられました。長期化する戦況の中で各国からの支援疲れが言われる中、日本政府はUN Womenを通じて戦時下のウクライナの女性と少女のために支援を行っているとのこと。

一時間以上におよぶカテリーナさんによる歌とバンドウーラ演

奏は素晴らしく、感動のあまり涙する方々もいました。哀愁を帯びた透き通る歌声で、祖国のウクライナでの悲惨な現状を思う気持ちが込められていました。

会場内は、「国際女性デー」のシンボル・フラワーのミモザで飾られました。

最後に、三輪敦子副理事長より、世界の女性と少女に希望の未来を届けるためにご協力・ご支援をお願いしました。

副理事長 伊藤光子

2023年後半における学生や生徒からの問い合わせは3件ありました。

1.大学の授業での課題関連で質問 男子学生

「大学の授業の一環で、『女性の生きやすい社会』実現のために、女性のエンパワーメントに関するリサーチをチームで行っている。国連ウィメン日本協会の女性のエンパワーメントに関する取り組みのお話を是非伺いたい。」とのこと。日本では女性が管理職になぜなれないかという疑問を持っているようであった。そこで、管理職における女性割合を男女共同参画白書で調べてその要因についても読んでもらった上で、オンラインで1時間、話をした。

2.神奈川県的女子中学校での課題 2年生

現在、探求の授業で「日本においてどうしたら女性は自

由になれるのか」という課題を設定し、レポートを書いている。「メールでインタビューをさせていただけますでしょうか。」という問い合わせ。メールによるインタビューは回答をそのままレポートに貼り付けることができるため、先ず、『男女共同参画白書』概要版を、読んで、日本における女性労働の状況について調べてもらった。その上で、オンラインで1時間、質問に答えた。中学生3名が参加。

質問①今1番実施されている取り組みは何だと思いますか。

質問②女性が自由になれるためにできることは何かありますか

3.ドイツ日本研究所で博士課程を目指す女子学生

彼女は、フェミニスト外交を研究しており、この点に関して意見を聞かれた。「フェミニスト外交は、北欧で特にスウェーデンで始まっているが、日本では、まずフェミニストという言葉自体が政治家、特に政権党である自由民主党からは嫌われているため、使われない。」と答えた。しかし、知り合いで自由民主党のWPS(女性・平和・安全保障)の世話人であった上川陽子議員(現外務大臣)には連絡したと回答した。

理事長 橋本ヒロ子

2024-2025 役員体制紹介

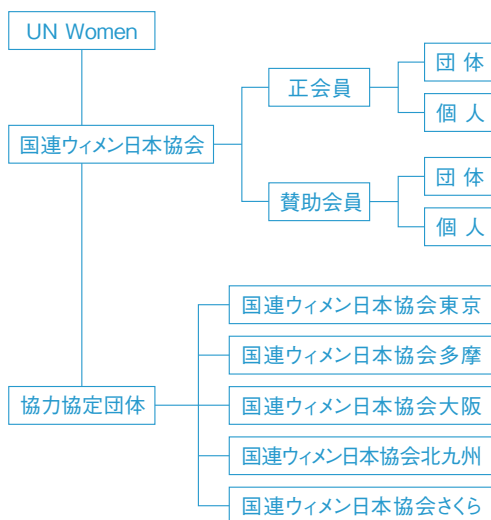
理事長：橋本ヒロ子

副理事長：伊藤光子 三輪敦子
本田敏江

理事：浅野万里子 有松沙綾香
木下彰子 芳賀日登美
日吉郁美 堀内光子 渡邊和子

監事：伊藤佳江 佐藤道江

顧問：有馬真喜子 檜森隆伸



役員紹介 ①所属先・行っていること ②得意なこと・好きなこと ③好きな言葉

浅野 万里子

①国際ゾンタ26地区、(公社)ガールスカウト日本連盟 ②どこでも眠れること、組織で活動すること ③冬来りなば春遠からじ

有松 沙綾香

①(一社)ジェンダー・多様性政策推進機構 ②筋トレ、フェミニストドラマの発掘 ③My Body, My Choice

伊藤 光子

①非常勤講師など ②ヨガ、旅行、神社仏閣巡り、歌舞伎鑑賞など ③青年よ、大志を抱け

木下 彰子

①国際ゾンタ「女性と少女の為により良い社会を築く」活動 ②いろんな人種の人と仲良くなること。人的交流。③人間死ぬまで発展途上人

芳賀 日登美

①SCRI株式会社 代表取締役/一般社団法人 リーダーシップ・コミュニケーション協会 代表理事【専門分野リーダーシップとコミュニケーションの Assessment 開発/広報コンサルティング】 ②人に喜んでもらう事・好きなこと：ワクワクできる事 ③昨日の自分を超えて行く!

橋本 ヒロ子

①日本協会の活動・孫の世話。②1日8千-1万歩と階段の上下 ③男女平等達成の長い列に加わりたい。

日吉 郁美

①民間企業勤務・世界女性会議ロビイングネットワーク北京JACメンバーと政府対案を作成、提出し、DV防止法制定を実現。②『大人のための文化教養講座』を企画・主催中。③日は好日

堀内 光子

①(公財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長

本田 敏江

②英文学オタク。関連読書会を3つ抱え、担当になると文学作品の一部を翻訳。イギリスのミステリーをビデオで見ることが趣味。

三輪 敦子

①(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)
(一社)SDGs市民社会ネットワーク
②信頼できる人と、おいしいものを食べながら、ゆっくり過ごす時間 ③No Rights, No Life

渡邊 和子

①広報業務、ドイツワインのボランティア活動など ②週末のバレエレッスン ③一期一会 継続は力なり

協力協定団体の活動

- ①所在地
- ②代表者名
- ③会員数
- ④活動
- ⑤PR(Webサイト紹介その他)

国連ウィメン日本協会 北九州

- ①北九州市小倉北区大手町11番4号北九州市大手町ビル3階(公財)アジア女性交流・研究フォーラム内
- ②会長 柴田邦江
- ③個人会員(202名) 団体会員(9団体)
- ④募金活動、講演会の開催、会報の発行、組織の強化、役員会等の開催
- ⑤今年では設立30周年を迎え講演会の開催や記念誌の発行等記念事業に取り組みます。

2023年12月3日(日)、北九州市立男女共同参画センター・ムーブで講演会を開催しました。スーダンを中心に支援活動をしている認定NPO法人ロシナンテスの川原佳代さんをお招きし、「アフリカと夫と私～気がつけば25年何とかやってきました!～」と題して、長年の教員経験を活かして活動をされている川原佳代さんが自らの体験や思いを語りました。講演会では、今、当たり前に行えることに感謝しつつアフリカの現状と平和について考える貴重な機会となりました。参加者は会場に121名、オンライン参加が30名の計151名でした。

事務局 福岡賢司



(講演会の様子)

国連ウィメン日本協会 大阪

- ①大阪市天王寺区上汐5-6-25
- ②会長 三輪敦子
- ③個人会員:56名、団体会員:1件
- ④募金活動、セミナー・チャリティイベントの開催、ブース出展での啓発活動、ニューズレターの発行
- ⑤国連ウィメン日本協会大阪は、2024年の2月に設立20周年を迎えました。日本はもちろん、世界中の女性と少女が生き生きと暮らせる社会の実現をめざし活動しています。WEBサイト:<https://danjo.osaka.jp/unwomensaka/index.html>

2024年4月29日(月祝)に、国連ウィメン日本協会大阪設立20周年記念事業「ジェンダー平等で、ともに未来をつくらう」を開催しました。基調講演では、(公財)市川房江記念会女性と政治センター理事長の林陽子さんから、ジェンダー平等に関する日本の現状と政策課題について、これまでを振り返りながらわかりやすく紹介いただきました。そ

の後、ワーキング・ウィメンズ・ネットワーク共同代表の石田絹子さん、西村かつみさん、DPI女性障害者ネットワーク代表の藤原久美子さんをパネリストに迎え、トークセッションを行いました。職場における男女の賃金格差、障害と女性という2つのアイデンティティに基づく交差性・複合差別という課題の解決に向けた具体的な活動や取り組みをお話しいただき、国際的な視点からみた日本の課題を知る貴重な機会となりました。「女性の権利は人権であり、これからも足踏みすることなく、仲間をつくり熱意を持って行動しよう」という林さんのメッセージは、当日参加された方への力強いエールになりました。当日は80名を超える方に参加いただき、続く交流会では参加者同士の活発な意見交換がおこなわれ、和やかな交流の場となりました。

事務局 長栄 くみ子



当日の会場風景



国連ウィメン日本協会 東京

- ①東京都杉並区西荻窪北3-11-3-105
- ②会長 城倉純子
- ③個人会員132名、団体会員1、賛助会員1名
- ④ニューズレター年2回発行。イベント:上映会「燃えあがる女性記者たち」。各会場でのバザーの開催、募金活動、国際関係活動団体との協働。
- ⑤Webサイト <http://unwomentokyo.org>

2024年2月19日(月)、今井館において、2024年度国連ウィメン日本協会東京定例総会が開催されました。各議案とも異議なく満場一致により承認され、2024・2025年度役員9名の紹介があり今年度事業もスタートしました。総会後は懇談会「国連ウィメン日本協会東京の今後について」を開催。参加者全員が自己紹介、其々の体験談を交換しました。自己紹介に終始しましたが、普段の役員会や事業の折りには垣間見ることができないその人らしさに触れることができ貴重な時間となりました。本年度は、広報活動に主眼を置き、上映会「燃えあがる女性記者たち」を東京ウィメンズプラザで7月12日4時より開催予定。様々な分野や世代に配信していますので、当日の反響が期待出来そうです。ぜひ足をお運びください。

副会長 中曾美穂子



総会後の懇談会笑顔の絶えない楽しい時間となりました

国連ウィメン日本協会 さくら

- 1 東京都杉並区和泉2-18-8
- 2 会長 小山志賀子
- 3 個人会員21名
- 4 随時開催の勉強会にて最新の国連の動向など周知している
- 5 各勉強会での周知、広報

4月21日、定例の勉強会をWeb会議形式にて開催しました。最近、新しい会員さんも加わったため、あらためて国連ウィメン日本協会の歴史や、いまでは一般的な活動となったSDGsについて、国連で提唱された初期からの啓蒙活動について講話しました。



事務局長 山内聖士

定例勉強会の様子

国連ウィメン日本協会 多摩

- 1 昭島市朝日町2-15-8 (小川方)
- 2 会長 大嶽貴恵
- 3 個人会員37名
- 4 ニューズレター年2回の発行、イベント(コンサート)は1~2回おこなっていましたが、最近では学習会・講演会にも力を入れています。募金活動、モンゴルグッズ販売も継続して行い毎月の役員会はオンラインも使いながら実施。

2月18日(日)に総会とチャリティーコンサート「歌と踊りで元気な年にしよう!」(三線演奏と沖縄踊り)を実施しました。

昨年度は会員が高齢化するなかで、会の存続や活動方法・内容を模索してきましたが、2024年度は役員体制を継続して身近な女性問題を中心にモンゴル視察やグッズ販売に注力していきたいと思えます。

4月から「女性支援法」施行という国の動きもあるので、学習会の企画も組み立てました。6月29日(土)に女性支

援の実践者である遠藤良子さん(NPO法人くになち夢ファームJikka 責任者)からお話を伺います。市の後援も受け、協働をすすめていけばと考えています。

そして、「国連ウィメン日本協会 多摩」の名前・存在を広く知らせ、活動のアピール、会員増を目指していきます。

広報担当 高橋由美



国連ウィメン日本協会の活動

総会報告

2024年2月24日(土)10時半から、2024年通常総会が行われ、2023年度の事業報告、決算、及び2024年度の事業計画、予算が承認されました。

決算報告

国連ウィメン日本協会2023年度決算報告
(2023年1月1日~12月31日)単位:円

一般会計

■収入の部		■支出の部	
会費収入	2,130,000	拠出金	17,024,507
寄付金収入	52,720,983	事業費	7,713,636
参加費・雑収入	44,448	管理費	2,097,723
当期収入合計	54,895,431	当期支出合計	26,835,866

その他の資金

■収入の部		
利息	22	
		当期正味財産増減額 28,059,587
		前期繰越正味財産額 15,347,588
		次期繰越正味財産額 43,407,175

2023年度拠出金支援報告

拠出金総額は17,024,507円となりました。

ご寄付にご協力いただきましたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。

- ①ウクライナ支援 3,750,000円 (25,660.48ドル)
- ②アフガニスタン支援 333,270円 (2,326.17ドル)
- ③トルコ地震支援 5,397,292円 (37,557.01ドル)
- ④ロヒンギャ難民キャンプ 375,000円 (2,617.44ドル)
- ⑤スーダン支援 225,000円 (1,570.46ドル)
- ⑥ジョージア 337,500円 (2,355.69ドル)
- ⑦ガザ危機支援 3,375,000円 (22,628.20ドル)
- ⑧女性に対する暴力撤廃国連信託基金 1,575,000円 (10,559.80ドル)
- ⑨コア 1,656,445円 (11,106.00ドル)

緊急募金実施中

皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

- ・戦火のウクライナで、女性と少女に欠かせないニーズが満たされ、彼女たちの権利が尊重される支援



- ・ガザでの即時停戦、すべての人質の解放、人道支援への安全なアクセスの継続を要求し、女性と少女の権利とニーズを擁護し、緊急に必要とされる支援



事務局からのおしらせと報告

■ご寄付のお申込みについて

日本協会への寄付は毎月定額をご寄付いただく「継続寄付」(マンスリドネーション)とその都度ご寄付いただく「都度寄付」があります。いずれの寄付も税制優遇措置の対象になります。

お申込みは、国連ウィメン日本協会HPに掲載されており、こちらのページからお願いいたします。

<https://www.unwomen-nc.jp/donation/#kifu>



「継続寄付 (マンスリドネーション)」

毎月定額のご寄付を続けていただく募金方法です。

毎月のご寄付は、世界の女性と少女を支援するUN Women が継続的にプログラムを展開するうえで、なくてはならないご支援であり、世界の女性と少女に希望の未来をもたらします。一度お申込みいただければご指定のクレジット・カードからの自動引き落としが可能な、インターネット決済をおすすめします。

インターネット決済では、「継続寄付」をお選びいただき、毎月の定額を1,000円から選べるリストより選択してください。

銀行口座振替をご希望の場合は、ご自身でのお手続きが必要ですので、口座情報を事務局へお問い合わせください。

領収書は毎年1回、1月中旬に、前年1月～12月のご寄付分をまとめて発行しております。

「都度寄付」

寄付のお申し込みを随時、その都度お受けいたします。インターネット決済の場合は「都度寄付」を選択していただき、1口1,000円からご自由に金額を設定してください。また、郵便振替もご利用いただけます。銀行振り込みをご希望の場合は、事務局へお問い合わせください。

郵便局 振替口座番号:00240-7-43928

口座名義:NPO法人

国連ウィメン日本協会

■2023年 団体・企業からのご支援 (五十音順)

団体: 上里町女性会議 群馬婦友会
国連ウィメン日本協会大阪
国連ウィメン日本協会北九州
国際ゾンタ26地区の17団体
全国友の会 新日本婦人の会
(公財)せんだい男女共同参画財団
同志社女子中学・高等学校
日本共産党党员による募金
プール学院中学校・高等学校
企業: THE GINZA (株)昭和商会
ソニーピープルソリューションズ株式会社
(株)高島屋 ビューティショップK
(株)文創 日本データカード株式会社
メドライン・ジャパン合同会社
モデラート(株)

■2023年 個人からのご支援

406名(企業・団体内で実施された個人募金は除く)

■「遺贈寄付」をご存知ですか?

遺贈寄付とは、人生の最後に残った財産の一部を社会貢献団体に寄付することです。UN Womenを通して世界の女性や少女たちに未来の贈り物を届けたい、というあなたの温かいお気持ち。日本協会では、そのお気持ちに沿って遺贈寄付を受け付けています。

遺贈寄付には二つの方法があります。

①ご自身で遺言に書いておく「遺贈」

相続人がいない方、ご家族に全てを残す必要はないとお考えの方、相続税対策をお考えの方、そして何よりも長い人生の中で築いてきた大切な財産を、ご自身がこれまで大切に思ってきた価値あることに使ってほしい方にお勧めの方法です。

②亡くなった後、ご家族が相続財産から寄付をする「相続財産からの寄付」

故人から寄付を託された方、故人の生前の活動を偲びたい方、相続税・所得税の減税をお考えの方、そして何よりもお亡くなりになった大切なご家族の思いを引き継ぎ、その生き方を讃えたい方にお勧めの方法です。

近年、日本協会では、「終活」をする中で平和を思い、同じ女性同士の支え合いに

よって次世代により良い世界を残したい、という方からのお問い合わせをいただくようになりました。また、ご遺族からご寄付のお申し出をいただくこともあります。ご関心のある方はお気軽に、電話・FAX・メールにて、事務局「遺贈寄付担当」までお問い合わせください。

ホームページはこちらをご覧ください。

https://www.unwomen-nc.jp/?page_id=1991



■正会員団体12団体

(前回掲載以降2024.5.31現在)

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム
NPO法人一冊の会 国際婦人年連絡会
堺市女性団体協議会 (公財)横浜市男女共同参画推進協会 (一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会 群馬婦友会
国連ウィメン日本協会多摩 全国友の会
(株)高島屋 国連ウィメン日本協会東京
国際ゾンタ26地区

■正会員個人22名

(前回掲載以降2024.5.31現在)

■賛助会員団体12団体

(前回掲載以降2024.5.31現在)

日本生活協同組合連合会政策企画部に
いかにた女性会議 越谷ミズの会
(公財)佐賀県女性と生涯学習財団
(株)フジテレビジョン 国際ゾンタ姫路ゾンタ
クラブ (株)クロスメディア・ランゲージ
国連ウィメン日本協会北九州
(一社)大学女性協会 (株)Mar United
横浜新港倉庫(株)
国連ウィメン日本協会さくら

■賛助会員個人109名

(前回掲載以降2024.5.31現在)

以上、敬称略

<認定>NPO法人国連ウィメン日本協会

事務局

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜内 (フォーラム)

・TEL/FAX 045-869-6787

・E mail unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp

・ホームページ <https://www.unwomen-nc.jp>

●交通のご案内 JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」下車、徒歩7分

